

ナノ量子フォトニクス関連研究室訪問 in ヨーロッパ

東京大学理学系研究科物理学専攻 博士1年

勝見 亮太

2018年10月3日から5日にかけて、ドイツのミュンヘンを訪れ、ミュンヘン工科大学(TUM)を訪問した。TUMではFinley教授の研究室を訪問し、彼らの研究紹介やMBE・光学実験系の案内をしていただくのみならず、自分の研究内容について発表をさせていただいた。

続いて2018年10月6日から8日にかけて、デンマークのコペンハーゲンに移動し、ニールス・ボーア研究所(NBI)を訪問した。NBIではLodahl教授の研究室を訪問し、光学測定系の設備を見学させていただいた。

最後に2018年10月9日から12日にかけて、スウェーデンのストックホルムへ向かい、スウェーデン王立工科大学(KTH)を訪問した。KTHではZwiller教授の研究室を訪問し、当研究室における最新の研究内容を紹介していただいたり、クリーンルーム・SSPDなどを見せていただいたりした。さらに、自らの研究内容を発表し、多くの議論をさせていただいた。

各研究室を訪問させていただき、研究スタイル・実験設備・人員・研究予算についての違いが垣間見え、将来どういったキャリアを選択するか考えるための極めて貴重な機会となった。これらの経験は、どういったキャリアパスを選択したとしても、将来世界的に活躍できる研究者となるために必ず役立つものだと思信している。今回、このような大変貴重な機会を与えてくださった岩本先生(東京大学生産技術研究所)に感謝いたします。また本派遣プログラムは科研費(18J21667)により遂行された。



図 1. コペンハーゲンの街並み



図 2. Zwiller 教授研究室訪問の様子